

猛毒「ヒョウモンダコ」に ご注意ください！

小値賀町沿岸において、強い毒を持つ「ヒョウモンダコ」が見つかりました。

「ヒョウモンダコ」は、フグ毒と同じ毒（テトロドトキシン）を持っています。

咬まれると危険ですので、不用意に触らないようご注意ください。



平静時



興奮時

《ヒョウモンダコの特徴》

- ・体長は最大でも120mmくらいの小型（イイダコよりも小さい）です。
- ・興奮させると、体表に鮮やかな青い斑紋や筋状の模様が浮き上がります。
- ・黒いスミは吐きません。
- ・唾液腺にフグ毒と同じテトロドトキシンを持ち、咬まれることで毒が体内に入ると、吐き気、手足のけいれんを起こし、最悪の場合死に至ることがあります。体が小さい幼児などは、咬まれると特に危険です。

～ 確認情報がありましたら、下記までご連絡をお願いします。～
県北水産業普及指導センター (TEL 0956-25-5902)
または
小値賀町役場産業振興課水産係 (TEL 0959-56-3111)